

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成25年11月28日 (2013.11.28)

【公開番号】特開2012-86518(P2012-86518A)

【公開日】平成24年5月10日 (2012.5.10)

【年通号数】公開・登録公報2012-018

【出願番号】特願2010-237481(P2010-237481)

【国際特許分類】

B 4 2 F 17/18 (2006.01)

【F I】

B 4 2 F 17/18

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月9日 (2013.10.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 2】

これによって、蓋体 5 を閉じた状態では、係止凸片 9 1 の凸部 9 1 a が蓋体 5 の前記係止孔 5 1 7 に嵌入して、蓋体 5 が閉成状態にロックされる。蓋体 5 を開けるときは、係止凸片 9 1 が突出孔 4 1 7 a , 4 1 7 b より突出している部分を手指を用いて同時に押圧することにより、係止凸片 9 1 と係止孔 5 1 7 の間の係合が外れ、蓋体 5 の開成操作が可能となるものである。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 2】

図示した実施例において、名刺取出しプレート 3 は、その一方の短辺上に設けた軸支孔 3 1 5 に、底板 2 の一方の短辺上に設けた支軸 2 2 を挿通することにより、当該支軸 2 2 の中心点（従ってまた、軸支孔 3 1 5 の中心点）を中心に底板 2 に対して旋回移動可能なよう取り付けられ、支軸 2 2 の根元部に装着された弾性手段としてのスプリング 7 により、前記収容位置から進出位置へ向けて一方向に旋回移動するよう付勢されている。尚、スプリング 7 は、捩じりコイルスプリング、引張コイルスプリング、圧縮コイルスプリング等の弾性手段を用いてもよい。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2】

